第381号/平成28年度 11月号

ユネスコスクール

八名川小学校ホームページアドレス

江東区立八名川小学校

http:/www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/

Tel 3 6 3 1 - 2 2 6 0

周年は100年に一度の本祭り

校長 手島 利夫

八名川小学校は、徳川家康さんの江戸開闢以前から続くこの町に、大正5年9月5日に生まれ、現・山﨑孝明区長様をはじめ、江東区議会、江東区教育委員会のご指導の下、地域の皆々様や関係機関のご支援・ご協力をいただきながら、豊かな文化の中で歴史を刻み、教育の充実・発展を図ってまいりました。

この11月19日(土)に開校100周年の記念式典・祝賀会の日を迎えることができますのも、八名川小学校開校100周年を祝う会々長の阿部誠様をはじめ、役員・実行委員の皆様のおかげと、心より感謝しております。

学校教育の充実や子どもたちのために様々な記念品までご用意頂き、恐縮しております。 記念誌の編纂を機会に歴史を振り返りますと、関東大震災や東京大空襲など厳しく困難 な時代を乗り越えてきたこともわかります。また、発明工夫展やソニー賞の受賞など理科 や体育教育が充実した時代、全国学校音楽コンクールでの第一位受賞など音楽教育の発展 した時代、国語や社会科、算数など教科教育の充実した時代、道徳、給食、俳句の時代な ど、それぞれの時代の先生方の研究や子どもたちの努力、そしてそれを支える家庭や地域 の力が輝かしい歴史を創ってきたことも感じます。

最近ではUNESCO (国際連合教育・科学・文化機関) の指定校として、国内外に学校を開き、時代の求める問題解決能力やコミュニケーション能力の育成等に取り組むと同時に、学力面でも飛躍的な成果を挙げております。

この周年は江東区立八名川小学校にとって100年に一度の本祭り、皆々様と一緒に、 大いに祝い、盛り上がりたいと思います。よろしくお願いいたします。

本祭りに花を添える快挙!

八名川小学校PTAが文部科学大臣賞受賞

八名川小学校PTAは、優良PTA団体として東京都教育委員会のご推薦をいただき、 11月18日(金)山口会長様が文部科学大臣から表彰状を贈呈されることとなりました。 これは保護者も教員も参加意識が高く、互いに協力的であるだけでなく、役員会や運営 委員会の内容が常に整理されていて、年2回の広報誌だけでなく運営委員会だよりが年6 回発行されることなど、適切な広報活動により協力的で開かれた運営が進められている点が高く評価されたものです。

また、ホームページ・ボランティアによる「今日の学校の様子」が毎日のように更新されており、充実した学年活動や様々なボランティア活動(読み聞かせ、図書、お花、芝生、ホームページ等)の様子も好意的に伝えられ、会員の活動意欲や参加意識の向上に結びついている点も優れた点として評価されたそうです。

この時期に受賞とは100周年に花を添える快挙ですね。おめでとうございます。

八名川小学校 🚞



第379号/平成28年度 9月号

ユネスコスクール

八名川小学校ホームページアドレス

江東区立八名川小学校

http:/www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/

Tel 3631 - 2260

そして、リオ・パラリンピックの開幕へ

校長 手島 利夫

リオデジャネイロ・オリンピック大会は多くのドラマと感動を残して閉会されました。様々な種目での日本人選手の活躍が報道され、こどもたちも勝利の喜びや負けた悔しさ、選手を支え応援する人々の姿などにふれ、スポーツの素晴らしさを改めて実感したことと思います。

ここで4年後の東京オリンピックに目を転じる前に、「オリンピックは、放っておいても盛り上がります。大切なのは、パラリンピックをどう盛り上げるかです。」とおっしゃる山崎区長さんのお言葉が思い出されます。

パラリンピックの報道時間はオリンピックよりも短くなることでしょう。私たちが自ら 意識を向けて注目していないと忘れ去られかねないのです。しかし、リオ・パラリンピッ クを通じて [障害を得ても、人々はスポーツを通じて人生を楽しみ、競い合い、高め合い、 讃え合って前向きに生きていく] という姿にふれ、ご家族で、そして世界中の人々と新た な感動を共有してほしいものです。

そのような中から、多様性を尊重し、共生社会を実現する道も見えてくるのだと思います。また、このような意識無しには 2020 年の東京オリンピック・パラリンピックの成功はあり得ないのだとも思うのです。

さあ、リオ・パラリンピックの開幕です。パラ・カヌー江東区出身の日本代表瀬立モニカさんだけでなく、多くのパラリンピアンの活躍に期待し、注目してまいりましょう。

体罰のない学校を創ります

江東区では全区を挙げて教員による服務事故を無くそうと取り組んでおります。特に体 罰を無くし、こどもたちが安心して生活できる環境を作ることが重要です。

本校では江東区の方針を受けて、職員の研修を徹底するとともに、左記のような体罰ゼ

口宣言ポスターを作成しました。

八名川小学校のこどもたちは、素直で、聞き分けのある子ばかりですが、 時として、教師がかっとなるような場 面があるかもしれません。

そのような時にも、叱る前の深呼吸が大人としての分別を取り戻す力になることと思います。

体罰は大人の意識さえきちんとしていれば根絶できるものです。暴力や暴言でなく、信頼関係で学びが深まる学校づくりを目指してまいります。





第368号/平成28年度 7 · 8月号

ユネスコスクール

八名川小学校ホームページアドレス

江東区立八名川小学校

http:/www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/

Tel. 3631 - 2260

アメリカから教育視察団を迎えて



校長 手島 利夫

日米両国政府の共同提案による日米教育委員会(フルブライト・ジャパン)の主催で、 平成21年度よりESD(持続可能な開発のための教育)を共通主題とした教員の研修交流が進められてきました。

6月24日(金)、全米各州から選抜された10名の教員を本校にお迎えしました。

2校時には、6年生児童の司会で、体育館を会場に、全校 歓迎集会が開かれました。温かな拍手で迎え、まず始めに吹 奏楽部が明るく軽快な曲で歓迎演奏を披露しました。校長の 挨拶に続いては、6年生が英語も交え、心を込めた歓迎の挨 拶をし、アメリカの先生方からも、学校や子供たちの様子を 紹介していただきました。

5年生は八名川小学校の歴史も踏まえた学校紹介をしま した。また、一人一人の先生方のお名前を漢字で表し、習字 で書いたプレゼントもお渡しして、喜んでいただきました。

教育の質的な向上を目指した交流ですから、授業も参観されました。特に4年生の「水と私たちの暮らし」の学習では、 水道の仕組み等を学ぶだけでなく、関東北部に広がる水源ダ

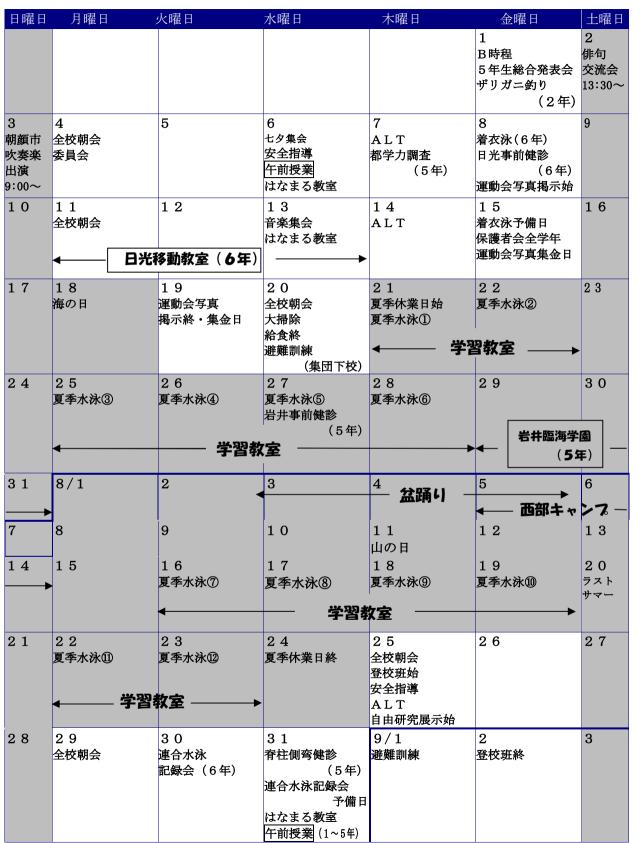
ムの貯水率の低下等を踏まえた学習でしたが、水を無駄にしないために自分たちでどのように 取り組もうかとアイデアを出し合う授業を熱心に参観されました。

個人で考え、グループで対話し、学級に広げる学習のスタイルについては、「私たちの授業と同じスタイルね。とてもいいと思うわ。」と話されていました。

お客様が10人でしたので、2年生以上の各教室に分かれて、給食も一緒に食べながら、楽しく交流が進みました。

シアトル ワシントン州のバーバラ ブロムレイ先生からは、「八名川小学校の子供たちや教育の進め方に感動しました。 ESD カレンダーや、問題解決的な学習スタイルについても、多くの人に伝えたいです。 8月16日にホワイトハウスで大統領と会う機会にもぜひ伝えます」と言われました。 八名川小の子供たちの姿から日米の教育活性化が進むことを誇らしく思います。

7·8月行事予定



*運動会の写真…掲示期間:7月8日~19日(1階会議室前)集金日:7月15日、19日

*自由研究の展示…8月25日~9月14日

クラス活動

5月9日に第1回目のクラブが行われました。初回はクラブ長などの 役割を決めたり、目標を決めたりしました。学年・学級が違う仲間達と、 協力し合ったり教え合ったりしながら、楽しく充実した活動ができる ようにしていきたいです。



(特別活動部

全校遠足に行ってきました

6月17日(木)、八名川小学校の全員で、電車に乗って 全校遠足に行ってきました。目的地は去年と同じ、大島小松 川公園です。6年生の児童が中心になって、班で行う遊びを 考えました。1年生の児童のみなさんは、入学してまだ2ヶ 月しか経たないというのに、決まりを守って電車に乗ること ができました。公園ではいつもと違う友達とお弁当や遊びの 時間を過ごし、とても楽しそうでした。



これからも、縦割り班で遊ぶ時間はたくさんあります。どの学年の児童も、同学年のつなが りだけではなく、違う学年ともたくさん遊べるようになってほしいです。

(全校遠足担当 小野瀬 悠里)

自転車講習会

6月9日、3年生は体育館で自転車教室を行いました。警察署の方に安全な自転車の乗り方 を教わったり、あらゆる危険を想定して作られたコースを自転車で走ったりしました。子ども たちはみな真剣に取り組んでいました。自転車に安全に乗ることの大切さに気づき、交通安全 への意識を変える良いきっかけになりました。

(3年担任 敦澤 彩香)

夏休み・親子のふれあいを

もうすぐ夏休みです。普段以上に子どもたちとふれあう時間が増えるので、子どものよい面 や頑張ったことを認めてあげられれば、と思います。

さて、先日ネットを見ていたら「スマホネグレクト」なる言葉を見つけました。「ネグレクト」 というと「児童虐待」という意味がありますが、この言葉は、自分にその気がなくてもついや ってしまうことだと思います。例えば、子どもが話しかけている時、スマホを操作しながら話 を聞いていてろくに返事をしない、スマホの操作中に子どもから話しかけられて「後にしなさ い」などと言ってしまう、等です。

これが日常化してしまうと子どもの対人関係を築く能力にも影響が出るとのこと、人と人と のコミュニケーションは、やはり相手の目を見て受け答えするのがいいことですし、子どもは 親の顔を見て安心感を得るものです。

日頃のこのようなふれ合いを大事にしていってほしいと思います。

(生活指導主任 鵜殿 直)

6月の俳句

くやしいなリレーまけたがぼくはやい	1ねん1くみ	あらい こはく
かたつむりゆっくりあるくさんぽみち	1ねん2くみ	さいとう かずき
あじさいのせかいにはいるぼうけんだ	2年1組	ロジャース 珀人
むらさき青きれいなあじさい水すいこむ	2年2組	唐澤 奏良
あじさいがふらせているの青い雨	3年1組	宮川 芙季
アジサイやプロポーズされてまっかっか	3年2組	岩崎曜
家に蚊が一ぴきはいれば大さわぎ	4年1組	西澤 芽生
短きょり走目の先いるのは一位の子	4年2組	大野 快人
カーネーションありがとうの数花の数	5年1組	佐々木 美紅
夏の風味方につけて短距離走	5年2組	花岡 古乙
全力の応援合戦炎天下	6年1組	谷口 柊友
運動会キャーキャーしてるお母さん	6年2組	川名 朋佳

ご意見をお寄せください					
八名川小学校の教育活動についてのご意見やご提案	をお寄せください。お待ちしています。				
	江東区立八名川小学校 TEL 3631-2260 (職員室)				
	FAX 3 6 3 1 - 3 1 2 7				

八名川小学校

第377号/平成28年度 6月号

ユネスコスクール

八名川小学校ホームページアドレス

江東区立八名川小学校

オリンピック・パラリンピックに向けて

と、様々なご協力をいただき、ありがとうございました。

シートを敷いてしまう方への声かけなどに取り組んでいただいていますが、年々、保護者 の皆さんからのご協力が進んできているなど、うれしい報告も届いております。

今回の運動会では、「こどもたちの安全に配慮し、組み体操はやらない」という東京都 や江東区からの制約の中で、新たなプログラム開発が求められました。その中から6年生 の集団行動「疾風怒濤」が生まれました。こどもたちの集中する姿と、会場の水を打った ような静寂の中、演技が進み、集団での交差が成功したときの会場のどよめきと沸き起こ る拍手に、新たな次代の幕が開かれたような感動を覚えました。

また、1~5年では、こどもたちの意見も取り入れながら演目を決めているために、曲 想の似たようなダンスが並びました。しかし、こどもたちも目標に向かって元気に頑張り 抜き、かえって、学年による発達段階が見えるようなプログラムになりました。演技を見 守る皆様方からの温かなご声援に応えることができたことも、大きな喜びでした。

ジャネイロで始まります。パラカヌー・カヤックで出場される18才の瀬立モニカさん(深 川小学校卒業)をはじめとする日本選手の活躍が楽しみです。

体育など一つの教科の指導だけで実現できるものではありません。学校全体の学びを有機 的につなげ、つながりと深まりのある学習を構築していかなくてはなりません。そこに学 校としてのカリキュラム・マネジメント力が求められています。工夫して、日々の学びの 中に、充実した学びとして創ってまいります。ご期待ください。



第376号/平成28年度 5月号

ユネスコスクール

八名川小学校ホームページアドレス

江東区立八名川小学校

http:/www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/

Tel 3 6 3 1 - 2 2 6 0

子どもの学ぶ心に火をつける

校長 手島 利夫

4月号では、「子どもの学びに火をつける」を合い言葉に主体的な授業づくりを目指しますと、お伝えしました。しかし、「言うは易く行うは難し」高度な課題であります。実現できている学校なんて聞いたことがありません。

4年生では消防の学習を主体的に進めるための導入に、昭和51年の酒田市の大火で時間とともに燃え広がる事例をとりあげ、写真・地図・映像などの資料の提示を工夫して、どの子にも火災の恐ろしさを実感させることから始めました。そして「東京消防庁の岩井さんからいただいた手紙」をきっかけに疑問を出し合い、カード化してまとめ、話し合う



中から『消防署では火事を早く消すためにどのような工夫をしているのだろうか。見学をして、早く消す工夫を調べよう』という学習問題にまとめ、調べる計画も立てました。

4月27日に深川消防署森下出張所に見学にいきましたが、正味2時間の見学中、飽きることなく話を聞き、見学のしおりが裏まで真っ黒になるほどメモをとり、たくさんの質問をしていました。帰り道には、「ああ、楽しかった。何がと聞かれても困っちゃうけれど、楽しかった。」という飾らない声を聞くこともできまし

疑問カードを読み合わせるこどもたち

この後は、教室や地域での学びを進め、読み手を 意識した「八名川消防新聞」にでもまとめるのでし ょうか。そのような活動を通じて、町の安全が守ら れている仕組みや、そこで暮らす一人の住人として の意識が育ってくれたら素晴らしいと思っており ます。

このような授業を進めるには、様々な準備も必要ですし、教材への研究も欠かせません。また、教師自身の指導観も変わっていかなくてはなりません。



ですから、全ての授業で実現できるわけでもありません。 集中して学び続けるこどもたちしかし、こどもたちが問題意識を持てば、学習が苦痛でなくなることは確かです。このような学習づくりを目指し、八名川小学校では実践を続けてきました。他人からやらされて学ぶ学校からの脱却を目指しているのです。八名川小学校のこどもたちや先生たちに、独特の良さが出てきたら素晴らしのですが、「言うは易く行うは難し」ですね。

力を合わせて取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

第375号/**平成28年度** 4月号

ユネスコスクール

八名川小学校ホームページアドレス

江東区立八名川小学校

http:/www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/

Tel 3 6 3 1 - 2 2 6 0





新たな100年に向けた 創造と挑戦

United Nations UNESC Educational, Scientific and

UNESCO Associated School

校長 手島 利夫

保護者の皆様、お子様のご入学、そしてご進級、おめでとうございます。

新一年生55名を迎え、全校児童362名、12学級で平成28年度を始めます。

この3月、八名川小学校は第100回卒業生を送り出しました。今日からは次の100年に向けた教育の始まりです。本校ではこの数年来、世界の変化とこどもたちの未来を考え、中央教育審議会答申から江東区教育委員会の教育目標までを踏まえ、新たな時代に必要となる資質・能力の育成に向けた教育のあるべき姿を模索してまいりました。

ささやかな第一歩として、学校教育目標も一部改訂します。

現行

改訂

◎ 自ら考え、進んで学ぶ子

◎ 自ら学び考え行動する子

○ 思いやりのある子

- 思いやりのある子
- 体をきたえ命を大切にする子
- 体をきたえ命を大切にする子

これは、学ぶことがゴールであった教育から、学びを活かし、行動することで社会をより良くすることをゴールにする教育への変更でもあります。

ですから「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」や「何ができるようになるか」といった主体的な学習のあり方や、社会や世界と関わり、力を合わせてより良い社会を創るための人間性や学びに向かう力の育成をも重視してまいります。

その際、ESDカレンダーというツールを使った**教科横断的なカリキュラムマネジメント**を工夫し、学びの相互性・関連性を活かしながら深い学びを創ってまいります。

また、「元気なあいさつ八名川スマイル」を合い言葉に地域にも愛される子どもを育て、「子どもの学びに火をつける」を合い言葉に子どもが主体的に学ぶ授業を工夫し、伝統ある俳句教育の充実を図り、保護者・地域・専門家との連携から質の高い学びを実現し、実践力と発信力のある子どもを育てるよう挑戦してまいります。

地域の皆様、同窓会や八名川ファミリーの皆様、PTAを中心とした保護者の皆様のご理解とご協力をいただきながら、未来社会の担い手を育んでまいります。これからの100年もよろしくお願いいたします。

本年度も、濵方弥生副校長をはじめとして職員の定期異動がありました。本校教育の充実・発展にご尽力いただいた教職員の皆様に感謝しつつ、お知らせいたします。また、新たな職員を迎え「チーム・YANAGAWA」として、子どもたちやこの町のために一丸となって取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

第374号/平成27年度3月号

ユネスコスクール

八名川小学校ホームページアドレス

江東区立八名川小学校

http:/www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/

Tel 3631-2260

「価値ある銀メダル!」



校長 手島 利夫

2月 21 日(日)に江東区スポーツ会館で行われたスーパードッジボール江東区の決勝大会に3年生の「**八名川ブルージェイズ」と、「うまいボール八名川」**の2チームが出場し、「八名川ブルージェイズ」が、見事銀メダルに輝きました。

子どもたちは寒い日が続く中、朝練にも参加し、1人1人が少しずつ成長してきました。当日は、目の前で強いボールにも向き合って受け止めている姿に感動しながら、私も心から応援しました。

八名川小のコンセプトは、誰もが参加できることと、勝つためだけの選抜チームを作らないことでした。これは、どの競技の時も一貫して変わりません。そこに、この学校と保護者の素晴らしさがあるのです。

このことは、口で言うのは簡単ですが、もし自分が監督やコーチになったら、 チームを勝たせたいし、我が子が強かったら、強い子同士で組ませたくなるのも

人情です。



それでも、本校の保護者の皆様は、どの子にも同じチャンスを与え、同じように練習の中で育て、子どもたちが一緒に成長する姿を喜んでくださるのです。

そして、どの子も育てるために、出勤前の時間を割いて毎回指導してくださる監督・コーチの皆さんや、こどもたちを見守るお母さんたちの一貫した姿勢の中で、子どもたちはボールに向かう姿勢を学び、強い球をも受け

止める勇気を身につけ、共に戦うチームワークを育ててきました。

今回入賞こそ逃した「うまいボール八名川」チームの存在も重要でした。競い合い高め合う中で育んだ仲間意識は決勝ラウンドの応援にもつながり、会場を大いに盛り上げました。また、家族ぐるみの応援が**八名川ファミリーとしての応援**に広がり、子どもたちの頑張りを後押しするのです。

激しい競争社会が広がり、勝ち組だけが生き残ると思われがちな世の中にあって、この八名川小の教育風土が今も続いていることは、ある意味、現代の奇跡ではないでしょうか。月曜朝会後に、銀メダルを輝かせながら体育館を歩み去る3年生たちの自信や誇りが、その価値を証明しているように思いました。

第373号/平成27年度2月号

ユネスコスクール

八名川小学校ホームページアドレス

江東区立八名川小学校

http:/www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/

Tel 3631 - 2260

「世界に発信・八名川まつり!」

校長 手島 利夫

1月26日に行われた**八名川まつり**には多くの保護者の皆様、そして、幼稚園・保育園を含め地域の皆様方のご来校をいただき、ありがとうございました。おかげさまで大勢のお客様に向かって、子ども達が日頃の学習成果を活かし、楽しく有意義な発信をすることができました。

「八名川まつり」が現在の形になってから5年が経ちますが、毎年児童の発表の仕方や内容が進化を続け、今年は特に「自然な語りかけ」が随所に見られました。これは本校職員が「対話力の育成」に力を入れてきた成果でしょうか。



← 3年生の女の子から「校長先生、おいもに毒があるって知っていましたか。」 と笑顔で声をかけられ、気がつくと、私は説明の席で話に聞き入っていました。 見事な声かけ、自然な発表でした。

当日お見えになっていた愛媛県新居浜 市の教育長さんや先生方からは、「どのお 子さんも堂々と発表したり、友達の発表 に真剣に耳を傾けていたりしていて、大 変に感動しました。ESDに6年間取り 組んでこられた学びの姿が見事に結実し

た発表と感じました。八名川まつりの様子を新居浜市教育員会が作成している 『ESD 通信』を通じて、ぜひ多くの教職員や保護者にお知らせしたいと考えております」と過分なお言葉をいただいております。

教育新聞社からも、1月26日付の電子版で記事を公開していただきました。 掲載サイトは次の通りです。https://goo.gl/HwTLwc ご覧ください。(2021 年現在は休止しています)

こどもたちの発信が互いの学び合いだけに留まらず、全国各地の学校教育の進め方や大学教育のあり方など、ESDの視点から大きな影響を与え、「世界に発信・八名川まつり」になっていることを誇らしく思っております。

第372号/平成27年度1月号

ユネスコスクール

八名川小学校ホームページアドレス

江東区立八名川小学校

http:/www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/

Tel 3 6 3 1 - 2 2 6 0



困難をも楽しみながら乗り越えます

校長 手島 利夫

今年は、ユネスコスクール八名川小学校にとって、開校100周年という記念すべき年です。皆様方のお力添えをいただきながら、ますます教育の充実を図り、地域の未来を創ってまいります。困難をも楽しみながら乗り越えていきます。本校の取り組みに、変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。

姉妹校もインドネシアで大活躍

昨年2月に姉妹校提携をしたインドネシア共和国のグリーンスクールのSoni校長先生から、うれしい便りが届きました。

・・・・We are so excited to apply all of the things about ESD Program that we got during our visiting to Yanagawa Elementary School. Here we present the progress that we have done since February until this day. Besides some photographs of learning activities. (今年2月に貴校を訪問して以来の努力が報われ、大きな成果となりました。)



We have made global ESD Calendar as same as Yanagawa Elementary School made. (私どもは八名川小のように ESD カレンダーを創りました。)

We try to expose the ESD program into our government. Fortunately, our government give a good respond for ESD Program. (私たちはインドネシア政府に対して ESD プログラムの説明をする機会を得ました。そして、幸運なことに、政府からは ESD プログラムに対して積極的な反応 (国を挙げて ESD カレンダーをもとにした教育を推進しようということ) をいただくことができました。

←インドネシア政府に対し、ESD の進め方を 説明するソニ校長先生

本校で進めているESDやその成果については、1月26日(火)の午前に行われる 八名川まつりで、こどもたちの発表やその姿を通してご覧ください。今年も、愛媛県新 居浜市の阿部教育長先生をはじめ、多くのお客様がいらっしゃいます。

第371号/平成27年度 12月号

ユネスコスクール

八名川小学校ホームページアドレス

江東区立八名川小学校

http:/www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/

Tel 3631 - 2260

低炭素杯ファイナリスト賞を受賞!

校長 手島 利夫

11月27~28日(土)に開催されました**展覧会**には、お足元の悪い中、ご来場いただきありがとうございました。子どもたちは「想像の夢が広がる宝箱」をテーマに作品づくりに取り組みました。その成果を皆様方にご覧いただき、うれしかったことと思います。いつも変わらぬご支援に感謝申し上げます。

また、10月号でご案内しましたように、6年児童は11月9日(月)に深川江戸資料館を貸し切りにして、「子ども解説員」として江戸・深川の歴史学習発表会を開かせていただきました。本校の5年生の他にも、深川小学校やK-インターナショナルスクール、地域や保護者の皆様にもおいでいただき、資料館の解説員さんたちも合わせると約260名もの学習発表会になりました。東京都教育委員会指導企画課からも指導主事の先生がおみえになり、朝から昼までご参観され、6年生の全ての発表をお聞きくださり、絶賛してくださいました。

地域の文化に誇りや愛着をもち、自分の言葉で語れることこそ国際人としての基盤であると確信しております。深川江戸資料館をはじめ、お力添えくださった皆々様に感謝申し上げます。



長屋で三味線のお師匠さんの暮らしを語る6年生



また、5年生は環境省・文部科学省が後援する「低炭素杯2016」で、ファイナリストに選ばれ、2月16・17日に日経ホールで行われるファイナル審査会に出場することになります。

「CO2 削減子どもアクション」をきっかけに、地球温暖化防止という視点に立ち、子どもとしてどのような学びを続け、実践し、発信をしているかが評価されているのだと思います。

1月26日の午前中には学校中を会場にして、全校児童の ESD プレゼンまつり「八名川まつり」も開かれます。子どもたちの活躍にご期待ください。

第370号/平成27年度 11月号

ユネスコスクール

八名川小学校ホームページアドレス

江東区立八名川小学校

http:/www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/

Tel 3631-2260

世界文化遺産級の宝を発見!

校長 手島 利夫

学校公開・音楽会が終わりました。この間、音楽会も含めて多くの皆様にご来校・ご参観いただき、児童への励ましを賜りましたこと、ありがとうございました。

10月25日(日)の3・4校時に開催した音楽会では、1年生は明るく元気に、生き生きと、そして、2年生から6年生までは学年ごとの目覚ましい成長の様子が伝わってくるような、素敵な音楽会になりました。

体育館では全校児童が座り、その後ろを囲むように保護者・ご家族の皆様の席を作りました。 しかし、限られたスペースしかないので、演奏学年の保護者優先席をつくり、譲り合いをお願い しました。

それが見事に守られ、演奏学年が変わる度に、保護者席の皆様も一方通行の流れをつくって、 和やかに入れ替わっているのです。そしてどの学年の演奏にも温かな拍手で包んでいただけるの です。

このような保護者の皆様方の励ましの中、子どもたちが全力を出し切って歌い、演奏する姿をお届けできたことは、うれしい限りであります。また皆様に支えられ、本校の先生たちも、それぞれの個性を出しながら、子どもたちと一緒に音楽会を盛り上げていました。

望月副校長とも、

「このように素晴らしい保護者の姿って、他校では決して見られないですね。信じられないくらいです。」「全く、日本中どこを探しても、これほど学校に対して信頼を寄せてくださり、協力し

てくださる保護者には出会ったことがありませんね。」「世界文化遺産級ですね。」「全くです。この地域の良さが根底にあるのでしょうね。」

と、話が合いました。

「だから、子どもたちが素敵なんですね。」という結論も出ました。

『世界に誇る保護者の姿』は、八名川の宝です。永く維持・保存していきましょう。

もし、この世界文化遺産級の宝が失われることがあるとしたら、それは職員の中から、子どもたちの将来あるべき姿や資質・



保護者・ご家族に温かく囲まれた音楽会

能力を本気で考え、真剣に向き合う姿勢が失われた時でしょう。その時、この世界遺産級の宝が、 摩滅していくのだと思います。そうならないように、私どもも気持ちを引き締めて教育活動に取り組んでまいります。

また、多くのお褒めの言葉と同時に、入り口付近の混雑で会場に入りにくかったとのご指摘もいただきましたので、改善に向けて工夫してまいります。ありがとうございました。

第369号/平成27年度 10月号

ユネスコスクール

八名川小学校ホームページアドレス

江東区立八名川小学校

http:/www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/

Tel 3 6 3 1 - 2 2 6 0

地域から学び、資料館で発信

校長 手島利夫

深川の町には、徳川家康さんの昔から400年以上も紡ぎ続けてきた歴史と文化と、温かな人情があります。八名川の子どもたちがこれらのことを自覚し、誇りをもって、自分たちの町を具体的に語れるようにさせたいと考え、「江戸・深川の歴史を調べ、この町を語ろう」というESD単元を6年前に開発し、子どもたちの実践を通じて毎年、学びを進化させてきました。

そして今年は、国語の「自分たちの町を紹介する」といった内容からの発展を大切にした指導方法で取り組んでいます。今までの5年間は、どちらかというと基本的な知識は教えて、そこから生まれた疑問を発展させるという手法でした。指導法の違いが学びの深さや方向性にどのような影響するのか楽しみです。

また、例年ですと教室や体育館での発表が多かったのですが、今年は深川 江戸資料館の解説員の方々から『この子どもさんたちなら、うちの資料館で 子ども解説員として発表をしてもらえると思うのですが、いかがでしょうか』 と、お誘いをしていただいたのです。

予定では、11月9日(月)江戸深川資料館の休館日を利用して子どもたちのために貸し切りにしていただきます。午前9時半から11時半まで、クラス毎に前半・後半に分かれて、たくさんのグループや個人が、館内の色々な所で様々に発表をします。

当日は、近隣の小学校や八名川小の5年生、そして、事前予約をした一般のお客様や保護者の皆様などに聞いていただく予定です。予約については江戸

資料館の広報誌などで募集がされる そうです。

地域から学び、資料館で発信するなんて、一生忘れられない学習体験になると思うのです。ご協力いただいている深川江戸資料館の皆様や保護者の皆様に心からお礼申し上げます。 平成24年度の6年生の発表→



第368号/平成27年度 9月月号

ユネスコスクール

八名川小学校ホームページアドレス

江東区立八名川小学校

http:/www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/

Tel 3 6 3 1 - 2 2 6 0

引き取れない!訓練

校長 手島 利夫

9月1日には例年のように引き渡し訓練があります。これは、大規模地震が発生するという「警戒宣言」が出され、児童を迎えに来た保護者が、混乱無く、安全・確実に引き取っていただく訓練です。今年も例年のように引き渡しを行います。迎えに来られる方、よろしくお願いします。

ただ、4年前の東日本大震災では、都内にほとんど被害がなかったにもかかわらず、全ての交通が止まり、道路は大渋滞し、道路やターミナルは群衆であふれ、携帯も使えず、都内で352万人もの帰宅困難者がでました。実際にビルや家屋が倒れ、火災の発生や救助を要する人があふれる中で、誰もが帰宅を急いだら無意味な大混乱が続くことになります。

この経験を踏まえ、首都直下型の地震が発生した場合の、東京都の帰宅困難者対策は、「早く帰す」から「**72時間は帰さない!**」に変わったそうです。

火が広がれば負傷者から死傷者になる人が増えます。また、道路等でも危険な群衆なだれが起こります。そこで、災害対策の重要な時間「72時間」は、むやみに帰ろうとせずに、職場や安全な場所に留まり、消火活動・救助活動に協力し合うようにします。帰宅を我慢することが、火災や群衆なだれから自分の命を守り、安全な帰宅につながります。特に、東京駅から10kmを過ぎたあたりの木造住宅密集地帯を震災発生直後に抜けるのは危険です。

もちろん、自分たちの町で被災された場合も同様です。消火・救助活動に協力し合いましょう。そのためにも、ご家庭内の安全対策と、自宅にも職場にも最低3日分の備蓄品の確保が大切です。まさに「自助なくして共助なし」です。夜間や明け方に発災したときには、地域の消火活動等に協力できますか。例年11月に行われている町内防災訓練に参加し、何がどこにあるのか、どのような使い方なのか等、体験しておくのも重要です。町の安全は家族の安全に直結しています。そして、役所の公助には限界がありますからね。

では、今回の児童の引き取りは、どのように考えましょうか。

基本的には「警戒宣言」の引き取りです。しかし、お子様と相談した上で、震災発生時を想定して「引き取れない!」訓練をしてみても結構です。また、この機会を活用して、保護者同士で引き取りの協力について、小声で相談されて、関係を広げられても結構です。昨年度の引き取り訓練では、保護者の皆さんが物音一つ立てずに整然と引き取りに協力してくださり、感動しました。今年はただ整然とするだけでなく、皆様方にとっていろいろな想定や対応を考えたり、工夫・協力したりしながら取り組む、より実質的な訓練にしていきましょう。

学校としても、訓練を通して引き渡しの問題点や、その後の対応についての課題等を見つけ、組織としてよりよい対応ができるよう、改善を図ってまいります。厳しい暑さも予想されますが、よろしくお願いいたします。

第367号/平成27年度 7月号

ユネスコスクール

八名川小学校ホームページアドレス

江東区立八名川小学校

http:/www.koto.ed.jp/yanagawa-sho/

Tel. 3631 - 2260

セネガルの遠足

校長 手島 利夫

JICA青年海外協力隊員として昨年からセネガルに派遣されている若き友人上田清香さんから、おもしろい「セネガルだより」が届きましたので少し紹介します。

なんと、ここセネガルにも校外学習があったのです。 ただ日本と異なるところは、全員が行けるわけではないこと、予約制がないこと、バスは定員オーバーが当たり前であること、予定はあってないようなものであ



たり前であること、予定はあってないようなものであ 20 人乗りのミニバスに 45 名の児童が・ ることなどです。

予定では、世界遺産でもある奴隷貿易が行われていた「ゴレ島」と「動物園」へ行く「予定」でした。しかし、ゴレ島上陸まで炎天下の中待つこと 6 時間、動物園で用意されていた昼食も食べられず、引率の先生と急きょサンドイッチを作り、バスの中で子どもたちに食べさせることに。学校到着時刻はなんと、23 時半!多くの保護者が迎えに来ていましたが、特に文句も出ずに解散。私もその日は夜の 22 時まで何も食べず、少量の水だけで過ごしました。

ラマダン前の最後の週末ということもあって多くの学校、観光客が来ていたこともありますが、日本の観光施設がいかに整備されているか、遠足や校外学習の予定がいかにしっかり組まれているか、「素晴らしい」とつくづく思いました。しかしそのような状況の中でもやはり子どもたちの顔は輝いていました。初めて自分の住む土地を出る子、初めて海を見る子、新しいものに出会うとき、人ってこんなに真剣な顔になるのだな、と改めて思いました。様々なトラブルもありますが、教師はこの子どもたちの顔を見て満足するのでしょう。

(船着き場で待つ間に、熱中症で倒れる子が続出、担任は誘導員たちに早く乗せろと口論、 誘導員は船着き場に押し寄せる人の群れを電気ショックの棒で押し返し、逃げる人は将棋 倒しに・・・炎天下の中、山手線ラッシュ状態で待つ壮絶な状況だったそうです。世界の「当 たり前」を知った上で、自分たちの目指す「豊かさ」について考えていきたいと思います)

●● インターネットで「ユネスコ 日本ESD賞公募結果」と検索してみてください。文部科学省のホームページが表示され、ユネスコ本部が世界公募した教育賞の日本代表の推薦案件3件の中に、八名川小学校の教育実践が入ったことが公表されております。 幼稚園から大学まで続く学校教育の中からは唯一、本校の実践が選出されたのです。職員の教育研究とそれに応え続けてきた子どもたちの学び、それを支えてくださる保護者や地域の皆様の応援が、『日本の代表事例校』の名誉につながっていることと思い、感謝しつつお知らせします。大ニュースにはなりませんが、皆様とささやかに喜びたいと思います。